

事務事業名		豊川水源林対策事業（旧 豊川水源林対策造林事業）			会計	一般会計				
課等名		南信濃自治振興センター	係等名	産業経済部 南信濃駐在	事業種別	経常	開始	S54	終了	28
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
	施策	51	緑の保全と創出							
目的	対象(誰・何を)	市・民有林(南信濃地区)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	健全な森林を育成し資源価値を高める				7齢級(35年生以下)の人工林面積(ha)			488	
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	施業実施面積(ha)			5	5	5	5		
	定性目標									
	財団法人豊川水源基金の助成を受け、間伐を行う。施業は業務委託による									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 間伐事業 (1) 財団法人豊川水源基金の助成を受けて市有林の間伐を行う 南信濃木沢地区				1 (1)間伐実施面積(ha)			1 (1) 5 ha		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		1,031	1,032	1,031	1,032	[24決算 特定財源] (そ)諸収入(水源林対策事業助成金6/10以内) 618千円				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		617	621	618	621	[25予算 特定財源] (そ)諸収入(水源林対策事業助成金6/10以内) 621千円				
一般財源		414	411	413	411					
人件費計(千円)②		358		358						
正規職員所要時間		100		100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		1,389	1,032	1,389	1,032					
事業内容・目標達成状況の振り返り		豊川水源林基金の配分助成金を活用し、水源林対策事業が実施できた。一定額の配分があったため、計画的に実施することができた。								
改革改善の考え方	①問題点	豊川水源林基金からの配分助成金により、水源林対策事業が実施できたが、林齢の上昇により新たな施業地の確保が難しくなっている。								
	②改革提案	豊川水源基金と協議し、施業地のローテーション、施業条件の緩和措置などの要望を行い、今後も引き続いて水源林涵養のために計画的な事業を実施する。								